しんきんアセットマネジメント投信株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd　加入協会／一般社団法人投資信託協会　一般社団法人日本投資顧問業協会
〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号　URL：http:// www.skam.co.jp

マーケット動向：　2020年3月16日から3月20日までの動向

« 主 要 国 »

		過去3か月の推移	3月16日～3月20日 高値	3月16日～3月20日 安値	3月20日	前週比 騰落幅	前週比 騰落率	先週の動き
株価	日経平均株価		17,785.76	16,358.19	16,552.83	- 878.22	- 5.0%	米連邦準備制度理事会（FRB）は資金繰り支援のための緊急措置を発動すると発表、またトランプ米政権は大規模な経済対策を取りまとめたものの、内外の株価は売りが優勢。米株はニューヨーク州が必要不可欠な業種以外の出勤を禁止したことも重し。
	JPX日経400		11,759.38	10,783.62	11,491.69	+ 120.98	+ 1.1%	
	ＮＹダウ		21,768.28	18,917.46	19,173.98	- 4,011.64	- 17.3%	
	ﾄﾞｲﾂ DAX指数		9,201.07	8,255.65	8,928.95	- 303.13	- 3.3%	
						（変化幅、%）		
国債利回り	日本（10年）		0.095	-0.015	0.075	+ 0.070		大型経済対策を受けた国債増発への懸念に加え、投資家の現金比率を高める動きなどから債券売り（価格下落、利回り上昇）も広がり、国内の10年債利回り（長期金利）は0.10%付近まで上昇。米10年債利回りは一旦上昇も、FRBによる資金供給策を受け低下。
	米国（10年）		1.273	0.621	0.845	- 0.115		
	ドイツ（10年）		-0.140	-0.585	-0.321	+ 0.223		
	豪州（10年）		2.497	0.813	1.142	+ 0.164		
						（騰落幅、円）		
為替（対円）	ドル		111.51	105.15	110.93	+ 3.31		新型コロナウイルスにより世界景気が落ち込むとの見方が強まる中、流動性が高いドルの需要が高まり、ドル買い・円売りが優勢。新型コロナの感染者数が欧州で急増していることを背景に、ユーロ圏の景気不安が意識されユーロは軟調な動きに。
	ユーロ		120.65	116.90	118.53	- 0.93		
	豪ドル		67.39	59.91	64.25	- 2.43		
	カナダドル		77.96	73.82	77.10	- 1.06		
						（騰落幅）	（騰落率）	
その他	東証REIT指数		1,644.84	1,138.04	1,145.53	- 450.77	- 28.2%	東証REIT指数は大幅続落。投資家のリスク回避姿勢が強まる中、運用資産を現金化する動きなどから下げ止まらず。先週末の予想分配金利回りは6.826%（東証上場REITの予想分配金利回り、QUICK算出）と2009年12月の水準まで上昇。ＮＹ原油も続落。
	海外リート指数		170.21	154.98	156.50	- 42.05	- 21.2%	
	NY原油		33.75	19.46	22.43	- 9.30	- 29.3%	
	NY金		1,576.00	1,453.00	1,488.10	- 31.40	- 2.1%	

« ア ジ ア »

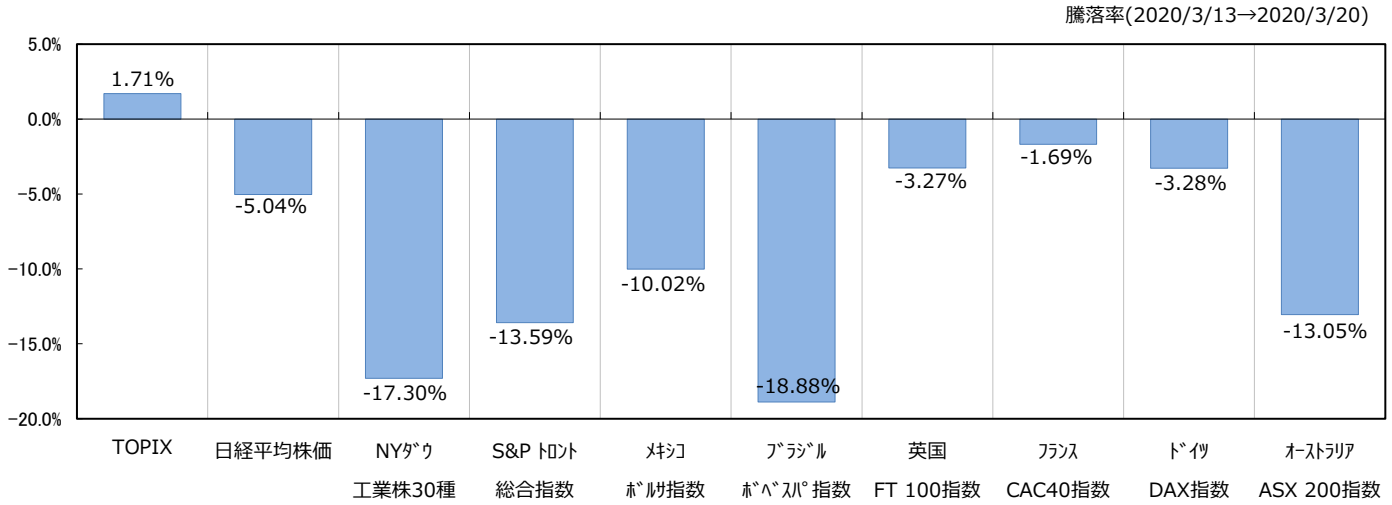
株価		過去3か月の推移	前週比	先週の動き	為替（対円）	前週比
中国	上海総合指数		- 4.9%	1-2月の生産などの落ち込みが確認され、大幅下落。	人民元	+ 2.7%
香港	ﾊﾝｾﾝ指数		- 5.1%	世界的な株安を受け、約3年ぶりの安値まで大幅下落。	香港 ﾄﾞﾙ	+ 3.6%
台湾	加権指数		- 8.8%	新型コロナウイルスの世界的流行を背景に、大幅下落。	台湾ﾄﾞﾙ	+ 2.5%
韓国	総合株価指数		- 11.6%	海外投資家による売りが加速し、大幅下落。	韓国ｳｫﾝ	+ 0.8%
インド	SENSEX指数		- 12.3%	国内でも工場停止などの動きが広がる中、大幅下落。	ｲﾝﾄﾞ ﾙﾋﾟｰ	+ 1.9%
ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ	ST指数		- 8.5%	世界景気は急激に後退との見通しが広がり、大幅下落。	ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ ﾄﾞﾙ	+ 0.2%
ﾏﾚｰｼｱ	KLCIｲﾝﾃﾞｯｸｽ		- 3.1%	世界的なウイルス感染に収束の動きがみられず、下落。	ﾏﾚｰｼｱﾘﾝｷﾞｯﾄ	+ 1.6%
ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ	ｼﾞｬｶﾙﾀ 総合指数		- 14.5%	リスク回避姿勢が強まる中、資金流出が加速し大幅下落。	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ ﾙﾋﾟｱ	- 5.3%
タイ	SET指数		- 0.1%	不安定な動きながらも政策期待に支えられ、小幅下落。	ﾀｲ ﾊﾞｰﾂ	- 0.4%
フィリピン	総合指数		- 17.5%	取引が一時停止されたことが嫌気され、大幅下落。	ﾌｨﾘﾋﾟﾝ ﾍﾟｿ	+ 4.4%
ベトナム	VN指数		- 6.8%	世界景気の極端な後退は必至との観測から、大幅下落。	ﾍﾞﾄﾅﾑ ﾄﾞﾝ	+ 2.4%

（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用。海外リートはS&P先進国 REIT指数（日本を除く、円ベース）。高値、安値については、海外リートは終値、その他はザラ場ベース
NY原油はニューヨーク商業取引所（ＮＹＭＥＸ）のＷＴＩ先物。NY金はニューヨーク商業取引所（ＮＹＭＥＸ）ＣＯＭＥＸ部門の金先物
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

※ 最終頁の「本資料に関してご留意していただきたい事項」を必ずご確認ください。

Ⅰ. 株 価

1. 各国の株価指数（騰落率）

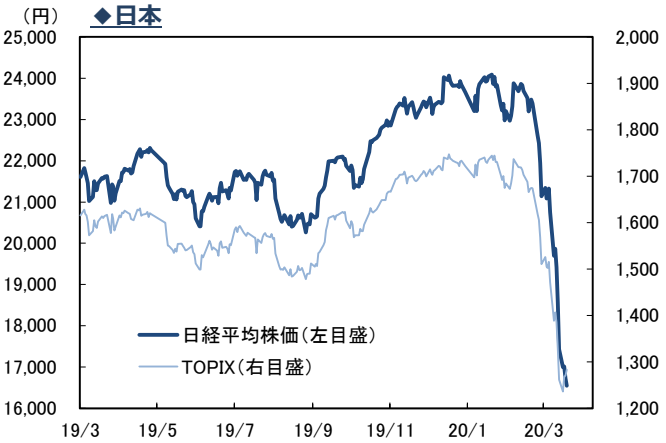


（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用

（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

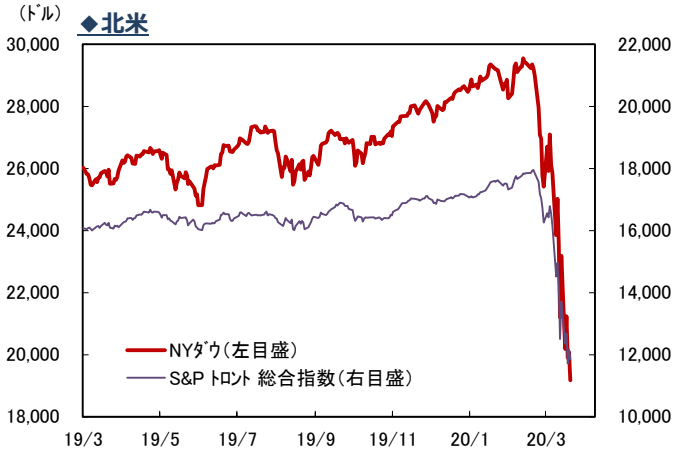
2. 各国の株価推移

◆日本



（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成　（年/月、日次）

◆北米

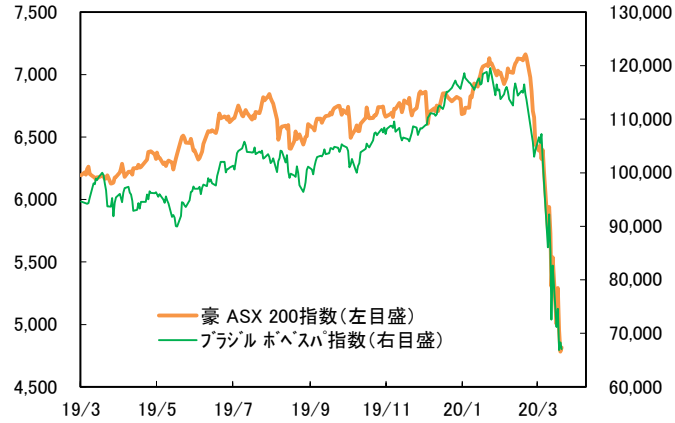


（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成　（年/月、日次）

◆欧州

（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成　（年/月、日次）

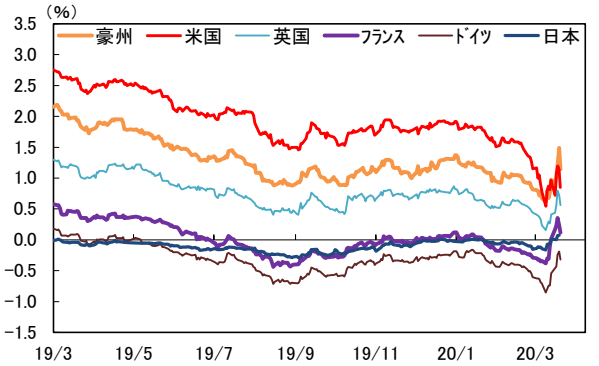
◆ｵｾｱﾆｱ・南米（豪州・ﾌﾞﾗｼﾞﾙ）



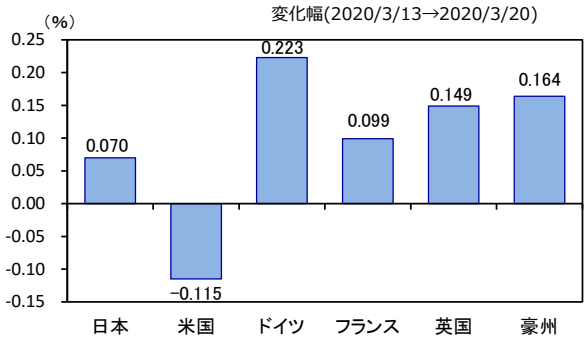
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成　（年/月、日次）

Ⅱ. 債券・為替

1. 主要国の10年債利回り

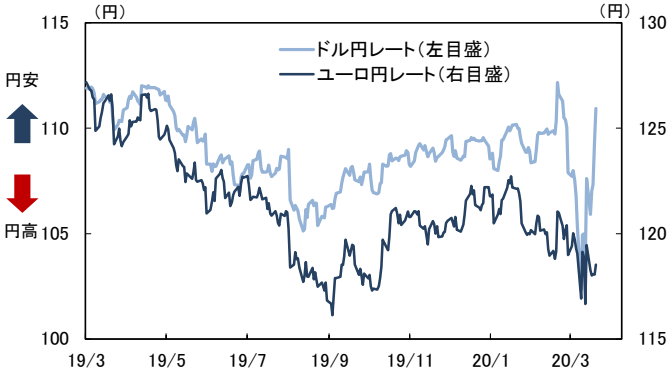


（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成　（年/月、日次）



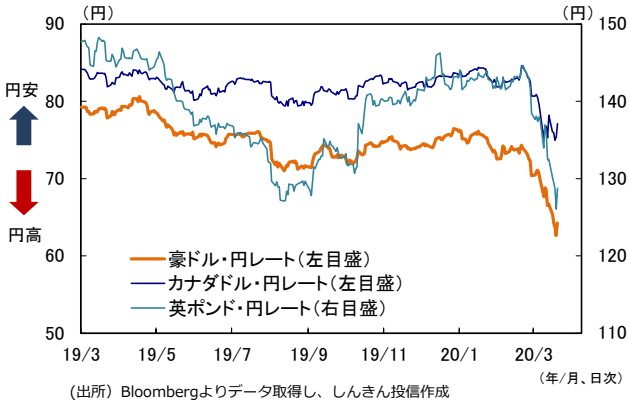
（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

2. ドル円、ユーロ円



（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成　（年/月、日次）

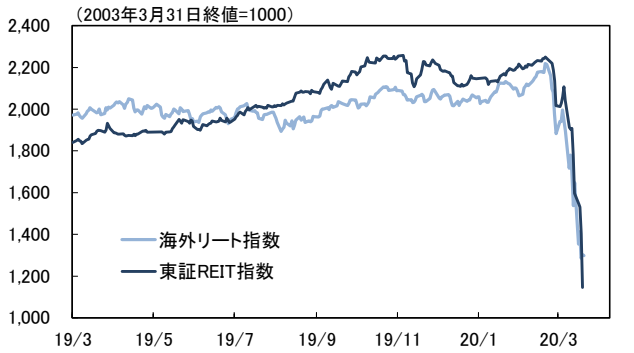
3. 豪ドル・円、英ポンド・円、カナダドル・円



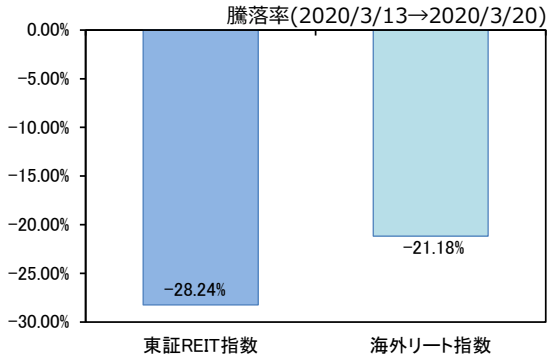
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成　（年/月、日次）

Ⅲ. リート・商品

1. 日本と海外のリート市場

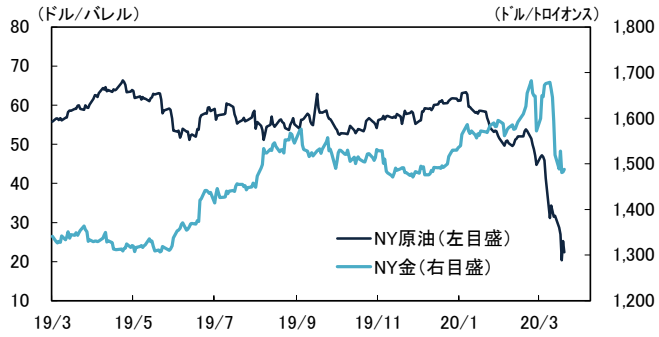


（注）海外のリート指数はS&P先進国 REIT指数（日本を除く、円ベース）　（年/月、日次）
（出所）東京証券取引所、Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

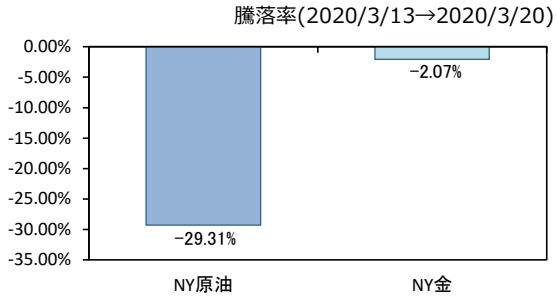


（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
（出所）東京証券取引所、Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

2. 原油、金



（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成　（年/月、日次）

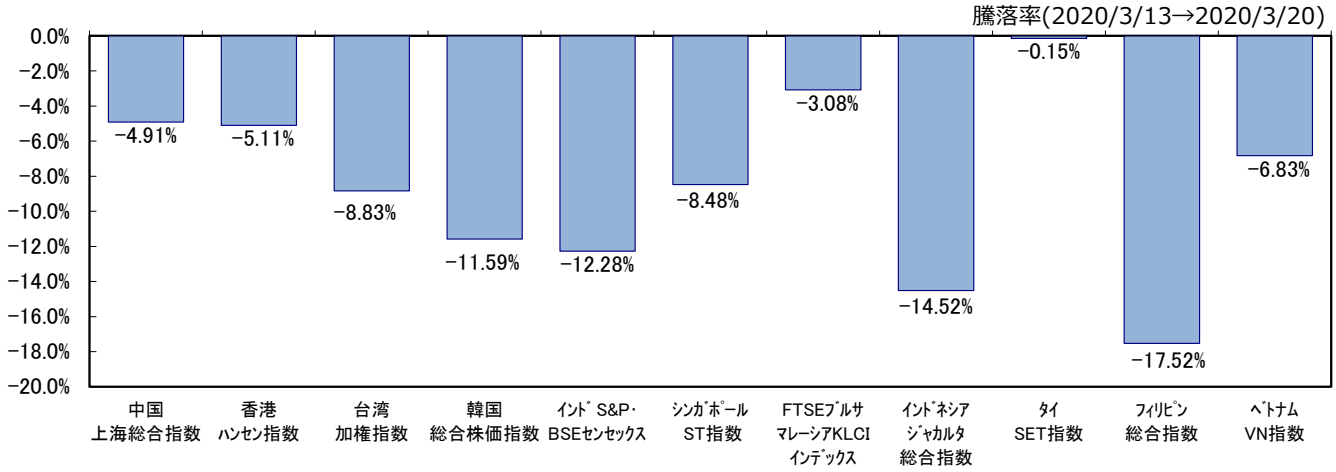


（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
NY原油はニューヨーク商業取引所（ＮＹＭＥＸ）のＷＴＩ先物。NY金はニューヨーク商業取引所（ＮＹＭＥＸ）ＣＯＭＥＸ部門の金先物
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

※ 最終頁の「本資料に関してご留意していただきたい事項」を必ずご確認ください。

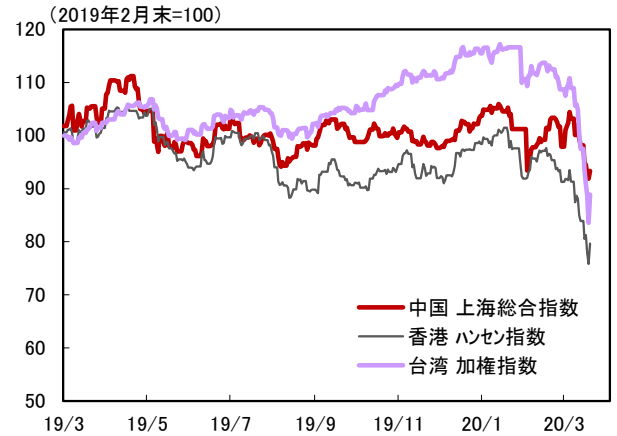
Ⅳ. アジア株

1. アジアの株価指数（騰落率）

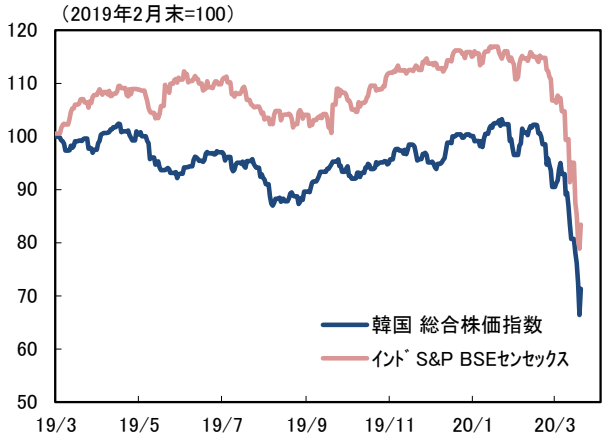


（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

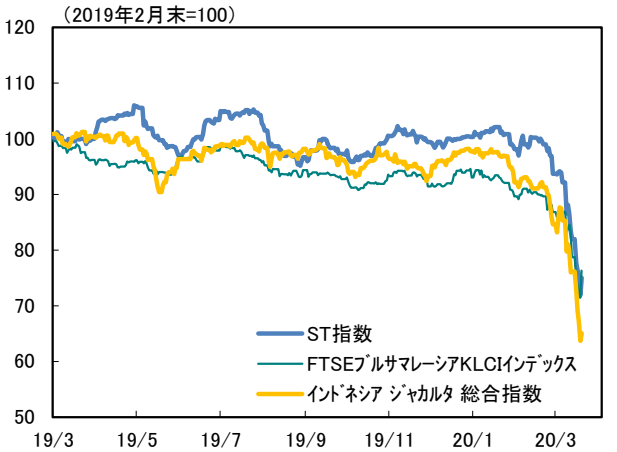
2. アジア株の推移



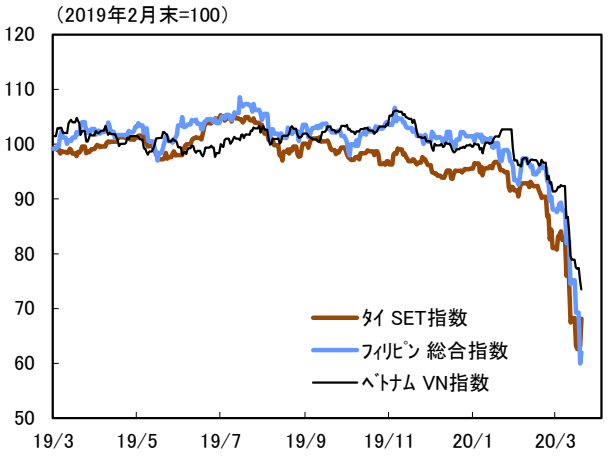
（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用　（年/月、日次）
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用　（年/月、日次）
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



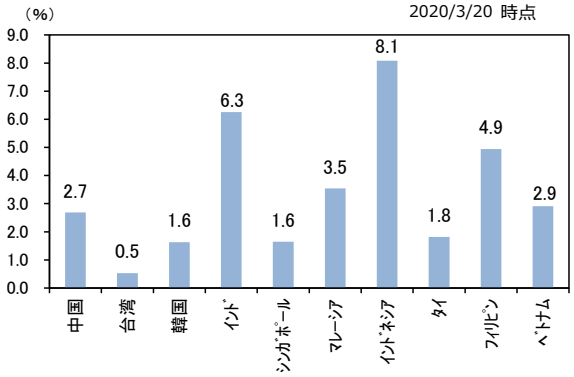
（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用　（年/月、日次）
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



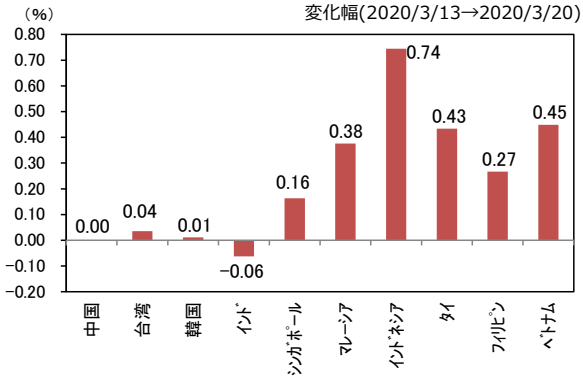
（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用　（年/月、日次）
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

Ⅴ. アジア長期金利と政策金利

1. アジアの10年債利回り

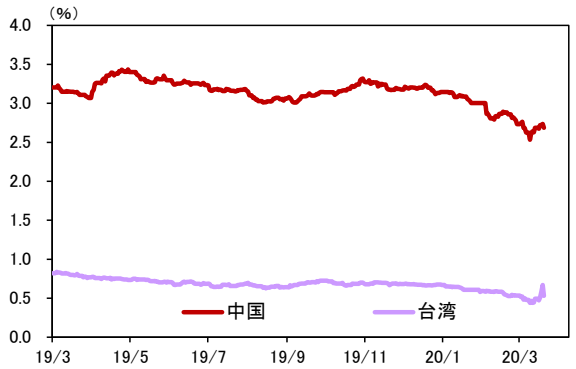


（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

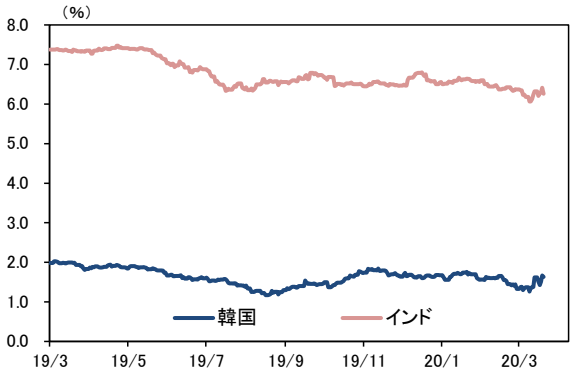


（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

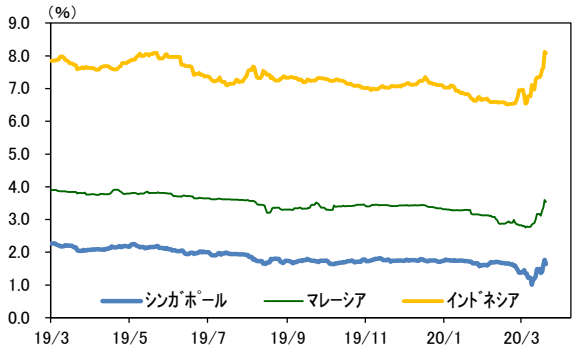
2. アジアの10年債利回りの推移



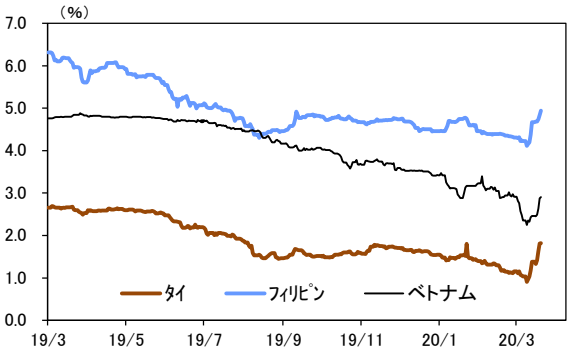
（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

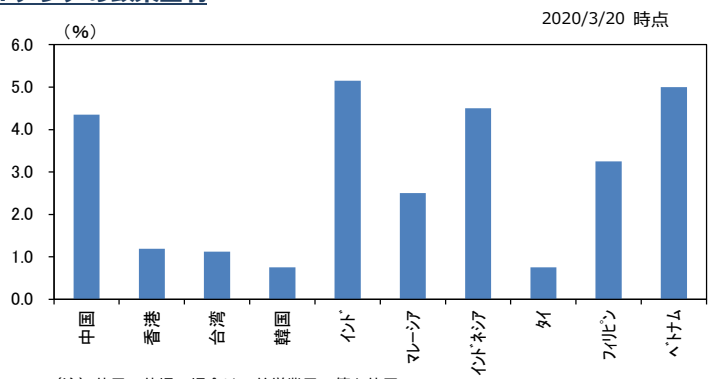


（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

3. アジアの政策金利



（注）休日・休場の場合は、前営業日の値を使用
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

（単位：%）

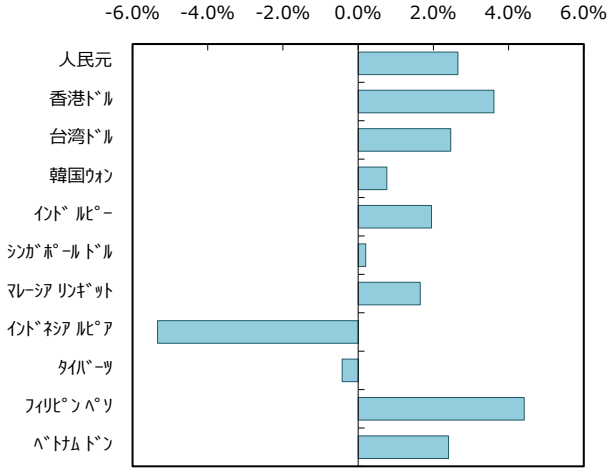
	政策金利	(前回)
中国	4.35	(4.60)
香港	1.19	(1.08)
台湾	1.125	(1.375)
韓国	0.75	(1.25)
ｲﾝﾄﾞ	5.15	(5.40)
ﾏﾚｰｼｱ	2.50	(2.75)
ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ	4.50	(4.75)
ﾀｲ	0.75	(1.00)
ﾌｨﾘﾋﾟﾝ	3.25	(3.75)
ﾍﾞﾄﾅﾑ	5.00	(6.00)

（注）中国は1年物基準貸出金利、ベトナムはリファイナンス金利。シンガポールは外国為替相場を金融政策の手段としており、政策金利はない。

Ⅵ. アジア為替（対円、Bloombergベース）

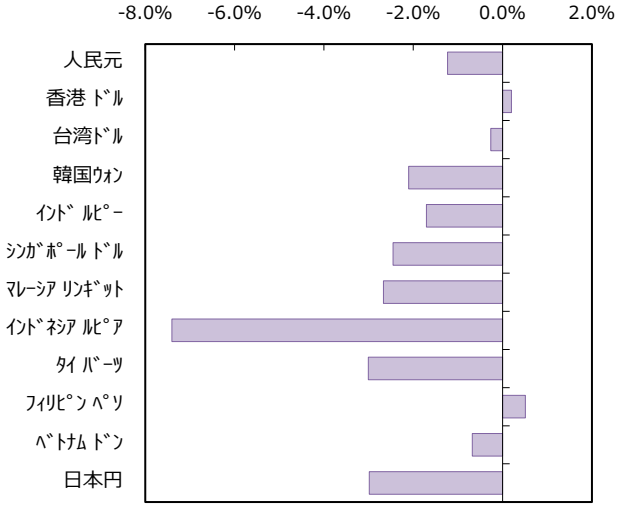
1. 前週比

対円での変化率（2020/3/13→2020/3/20）



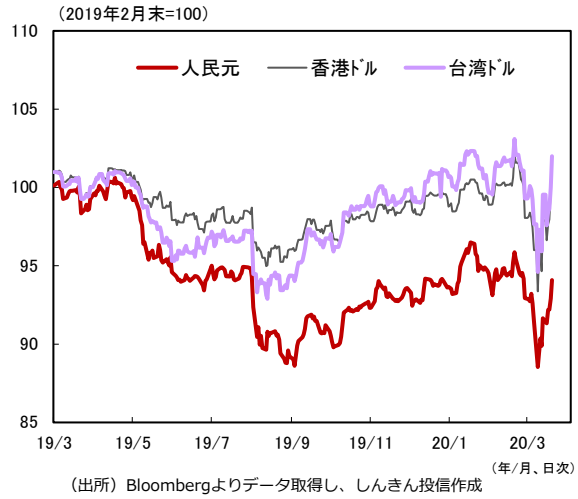
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

対ドルでの変化率（2020/3/13→2020/3/20）



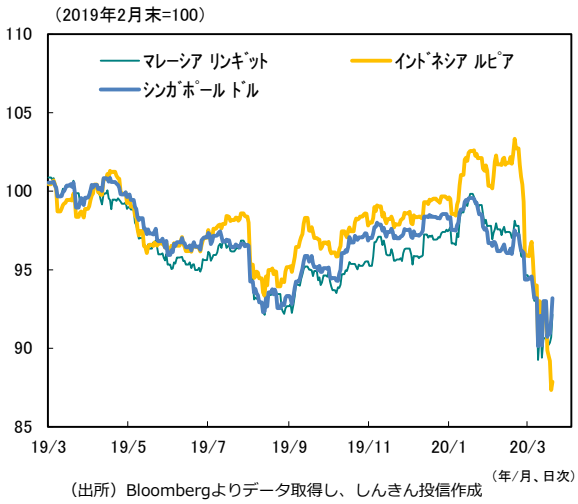
（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

2. アジアの為替の推移（対円）

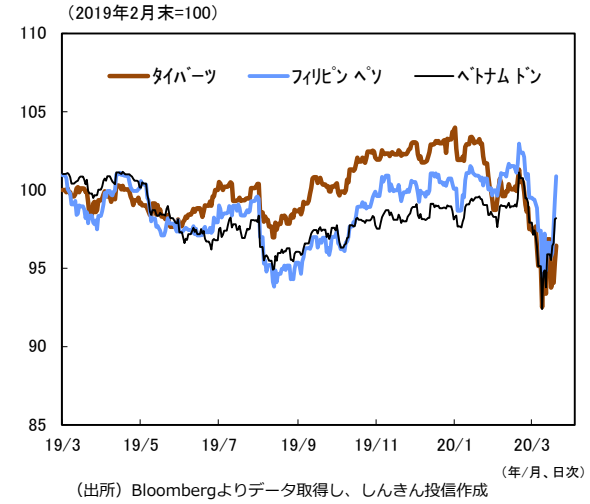


（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成



（出所）Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

（ 2020. 3. 23 作成）

※ 最終頁の「本資料に関してご留意していただきたい事項」を必ずご確認ください。

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞
※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものですので、予告なく変更する場合があります。
※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
※投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。
※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、請求目論見書については、販売会社にご請求いただければ、当該販売会社を通じて交付いたします。

【お申込みに際しての留意事項】
■投資信託に係るリスクについて
投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。
また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について
（お客様に直接ご負担いただく費用）
◆ご購入時の費用・・・購入時手数料　上限3.3%(税抜3.0%)
◆ご換金時の費用・・・信託財産留保額　上限0.3%
（保有期間中に間接的にご負担いただく費用）
◆運用管理費用（信託報酬）・・・純資産総額に対して、上限年率1.628%(税抜年率1.48%)
◆その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用（手数料等）の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》
上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。